

2024 年度 英国現代奴隷法に関する声明(参考訳)

天野エンザイム株式会社(以下「当社」)は、英国の 2015 年現代奴隷法(以下「本法」)第 54 条に基づき、会計期間の終期を 2025 年 3 月 31 日とする会計年度(2024 年度)における、天野グループ及びそのサプライチェーンにおいて奴隷的使役や人身売買を防止するための取組みにつき、以下の通り開示します。なお、天野グループとは、当社を親会社とする、英国 Amano Enzyme Europe Ltd.を含んだ企業グループを意味します。

1. 事業概要と組織

当社は 1899 年に日本で創業し、酵素剤の開発、製造及び販売に従事しています。天野グループは、多品種少量生産に対応できる酵素専業会社であり、医薬・診断用、食品用、工業用を含む様々な用途の酵素の製造・販売しています。天野グループは、世界の主要な 5 つの地域にまたがり、食品大手や製薬会社を含む多数のお取引先様に対して、販売を行っています。

英国においては、Amano Enzyme Europe Ltd.がオックスフォードシャーに拠点を構え、医薬品・診断薬用及び食品・工業用酵素剤の卸売を行っています。

2. 奴隷的使役と人身売買に関する方針

天野グループは、企業理念のひとつに「共生」を掲げ、社会やお取引先様と共に持続的に発展することを目指しています。また、企業倫理基準の一つに「人権への配慮」を挙げ、強制労働、あらゆる差別、法令に反する児童の労働を一切許容しないことを謳っています。

2024 年度においては、企業倫理基準に加え、新たに「企業倫理基準要綱」を策定しました。本要綱は、私たちが尊重する行動規範を宣言したものであり、当社のすべての役員・社員に適用されます。これにより、国内外へ事業を展開する酵素メーカーとして、高い倫理観の醸成・伝承に努め、全てのステークホルダーの安全を守ることを約束しています。

さらに、天野グループは、サステナビリティレポートにおいて、働きやすい職場環境、サプライチェーンマネジメントを重要課題として掲げ、活動の推進を宣言しています。

3. 当社とサプライチェーンにおける奴隷的使役と人身売買:デューデリジェンスのプロセス

法令違反行為等の早期発見と是正・再発防止を図るため、当社は、内部通報制度を構築しており、当社の企業倫理に関する通報・相談を幅広く受け付けています。さらに、当社は、天野グループに対して、定期的な内部監査を実施しており、遵法・公正・倫理に関する事実調査をし、取締役会にて報告しています。

また、当社は、サプライチェーン全体で社会的責任を果たすため、各取引先に対して、調達の基本方針を年に 1 回周知し、方針の遵守を求めています。

最新の調達方針については以下をご覧ください。

<https://www.amano-enzyme.com/jp/whyamano/quality/>

4. 奴隷的使役と人身売買の防止に関する研修

天野グループは、事業やサプライチェーンにおける奴隷的使役および人身売買に対する高い危機管理意識を養うため、全社員に対して適時、これらに関する内容を含む研修・セミナーを実施しています。

この声明は、2025 年 9 月 18 日付の当社取締役会にて承認されています。

2025 年 9 月 18 日

天野エンザイム株式会社

代表取締役社長

[署名省略]

天野 源之